

KISC

財団法人 かがしま産業支援センター
Kagoshima Industry Support Center

創業や経営革新に
取り組むあなたを応援します。



1月号

January 2011

今月の表紙

地元の素材に

こだわりをもって

有限会社 尾塚水産

代表取締役 尾塚 エイ子 氏

<企業概要>

所在地：阿久根市西目6675-1
創業：昭和27年3月
資本金：300万円
従業員数：6名
TEL：0996-72-0742
FAX：0996-73-0814
URL：<http://www.ozuka.co.jp/>

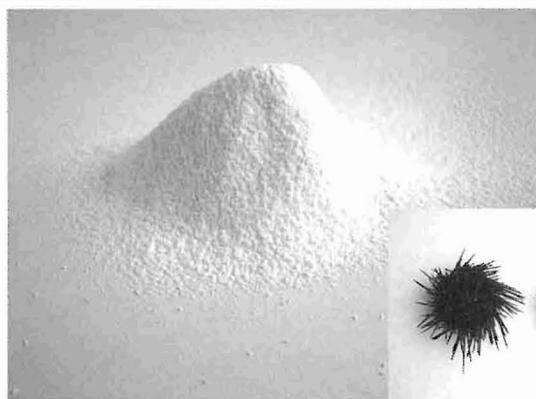
今月の表紙は、平成20年9月30日に、「阿久根産ウニを『捨てるどころがないほど完全に活かした』オリジナル商品の開発と販路拡大」で国の地域産業資源活用事業計画に認定された「有限会社尾塚水産」代表取締役尾塚エイ子さんです。

有限会社尾塚水産は、社長以下、社員もほとんど女性の会社で、お客様の「安全でおいしいものを」という声に応えるため、地元の素材にこだわり、昔ながらの手作りにこだわるとともに、海洋深層水を使用し、ウニ本来の味を活かす事により、合成保存料、合成着色料など一切使わない製品づくりにこだわっています。

認定された地域産業資源活用事業計画では、ウニの安定供給のために地元の漁業者と連携を図り、これまで埋設処理してきた、生食や瓶詰めに適さない不良卵巣や内臓を有効活用してウニ味噌やウニ



ウニ味噌



ウニ殻カルシウム

醬を製造するとともに、加工後に残るウニ殻を焼成して、粒径30ミクロン以下のカルシウム粉末を生産、また形を壊さずに磯の風味あふれる器として製品化を行い、環境に配慮した新商品として有効活用しています。

特に、ウニ醬は、独自の製法で開発しており、香味なども他の商品とは全く異なる点、また、ウニ殻カルシウムの商品は、現在市場には存在しない点が評価されました。これらの商品は、健康ブームが高まる中、安心・安全な天然素材の有効性を利用したものとして需要拡大が見込まれています。

CONTENTS

- 2 今月の表紙
- 3 年頭のごあいさつ
- 4 2010かごしま食と健康フォーラム
- 6 情報化優良企業「優秀企業賞」受賞！
- 7 女性経営者登場
- 8 実践！IT活用
- 10 鹿児島県から融資制度のお知らせです
- 11 ベンチャープラザコーナー⑦
- 12 研究シーズの紹介
- 13 活用ください！ビジネス支援課
- 14 受発注情報
- 15 Information

年頭のごあいさつ



鹿児島県商工労働水産部長
白橋 大信

平成23年の新春を迎え、謹んで新年のお喜びを申し上げます。

県内中小企業の皆様には、県政の推進につきまして、かねてから格別の御理解、御協力を賜りますとともに、本県商工業の振興に大きく貢献していただいていることに対し、心から感謝申し上げます。

現在、我が国経済は依然として厳しい情勢にあり、県内経済も、一部に生産の持ち直しは見られるものの、雇用の回復は足踏みしており、個人消費も弱い動きとなっているなど、厳しい状態が続いております。

このような中、県としましては、「産業おこしへの挑戦」をテーマの一つとして、県内中小企業に対する資金供給の円滑化や経営革新等への支援、鹿児島島の将来を見据えた企業誘致の展開や県内の「ものづくり」企業の振興、本県の良質で豊富な農林水産物を活用した農商工等連携の一層の促進など、活力ある地域経済を構築するための各般の施策を積極的に推進しております。

昨年は「かごしまものづくり企業経営者塾」を開催しましたところ、多くの県内企業の方々に御参加いただきました。その実績を踏まえ、今年はより内容を充実させた取り組みを展開することにしております。また、本年3月には、本県製造業の持続的な発展を図るため、産学官の関係団体が一体となって取り組むべき方向性を示す「かごしま製造業振興方針」を取りまとめることとしており、この中で「地域資源を生かした新産業育成」や「アジアへの展開支援」などの6つの柱を掲げ、今後、これらに重点を置いた製造業振興施策を展開することとしております。

(財)かごしま産業支援センターにおかれては、「かごしま産業おこし挑戦基金」を活用し、自動車・電子・食品関連分野や地域資源活用分野における新事業創出等に対する支援に取り組んでいただいているほか、新たに「中小企業情報活性化応援事業」や「産学官連携サポーター設置事業」、「中小企業等人材高度化育成事業」などにより、県内中小企業のIT化の促進や産学官連携による新製品・新技術等の研究開発への支援、企業のニーズに応じた人材育成研修事業の実施など、きめ細やかな支援を行っていただいているところです。

この3月には、九州新幹線鹿児島ルートがよいよ全線開業し、地域経済に与える波及効果が期待されております。県としては、その効果が最大限に発揮されるよう諸施策を積極的に展開するとともに、総合的支援機関である(財)かごしま産業支援センターと密接な連携を図りながら、中小企業の皆様方の新事業創出や技術・研究開発などの様々な取組を支援してまいりたいと考えておりますので、同センターの積極的な御活用をお願い申し上げます。

年頭に当たり、皆様の御発展・御健勝を心よりお祈りいたします。

2010 かごしま 食と健康フォーラム



平成22年10月29日(金)、歴史資料センター黎明館において、かごしま食と健康フォーラム委員会(委員長藤井信鹿児島大学農学部教授)と(財)かごしま産業支援センターとの共催で、「2010かごしま食と健康フォーラム」を開催しました。「食と健康」に対する消費者や事業者の関心が高まる中で、鹿児島の次代の産業を担う新たなバイオ・食品産業群の創出を目的に、大学等や企業の研究者が取り組んでいる先端バイオ・食品技術の研究事例などを紹介していただきました。

鹿児島大学、九州沖縄農業研究センター、県外企業1社、県内企業1社による4テーマの講演と10企業(講演者を含む)によるパネル発表や新製品の試飲・試食が行われ、多くの参加者でにぎわいました。

●講演内容●

①「調味料からトクホへ」イワシが特定保健用食品になるまで

仙味エキス(株)

代表取締役社長 飯島克裕 氏



仙味エキス(株)は、業務用天然調味料のメーカーであり、安全で美味しく健康に役立つ商品づくりをめざし、機能性食品の研究開発を行っている。産学官連携により、身近な大衆魚のイワシから血圧を下げる機能性ペプチドを見出し、それを量産化して特定保健用食品素材として販売することに成功した。特定保健用食品としての開発は、研究レベルでの有効性確認、量産化のための設備やコスト検討、販売のための販路確立など3つのブレイクスの

ルが必要だった。3つの課題を解決した要因は、①産学官連携で役割・立場を明確にして、長期的視点で取り組んだこと。②技術的にはより高いレベルに挑戦したこと。③最後は、開発への執念と人的ネットワークであった。

②鹿児島大学での民間企業・地方公 共団体との食品機能研究を振り返る

鹿児島大学農学部

教授 藤井 信 氏



動物実験が可能な研究環境に恵まれ、マウス、ラットを用いての抗肥満、高血糖抑制、高血圧抑制などの生活習慣病予防などや食品機能解析に取り組み、多くの県内企業と共同研究を行った。鹿児島の食産業の主要な産業である焼酎企業との共同研究では、焼酎もろみ飲料やサ

ツマイモを焙煎したビール様発酵飲料の健康機能の解明、黒糖焼酎残渣の生理機能の解明などを行った。また、黒糖焼酎もろみの黒糖由来のポリフェノールの抗酸化能の解明は、メラニン産生抑制能を持つ化粧品開発につながり商品化できた。食品の機能として、生体防御で重要なNK細胞の生体防御能を解析するために、ワカメ・メカブのヌルヌル成分、硫酸化多糖類フコイダンの生理機能について研究した。その他、黒酢やビワ茶の高血糖の抑制について研究し、鹿児島の多くの食資源の健康維持機能を明らかにしてきた。これ以外にも多くの企業との共同研究や支援を頂いたことを感謝する。

③南九州バイオマス資源の有効利用のための機能性研究

「サツマイモとサトウキビのさらなる普及に向けて」

(独)農業・食品産業技術総合研究機構九州沖縄農業研究センター

主任研究員 倉田 理恵 氏

九州沖縄農業研究センターは、九州・沖縄の農業及び関連産業の持続的発展のために、限られた研究資源の中で①新品種開発、②機能性研究、③バイオマス研究という地域農業の牽引役となる研究と④持続的農業生産技術の開発を行っている。この中でサツマイモ焼酎粕の有効利用について取り組んでおり、もろ



み酢やサツマイモ焼酎粕から開発したもろみパンの機能性成分の解明を行った。また、サツマイモではなく、サツマイモ茎葉からの機能性抽出を行い活性酸素(ラジカル)消去能、抗がん作用、抗糖尿病、メラニン産出抑制について研究中である。離島では基幹作物であるサトウキビから製造されるサトウキビ酢の機能性についても解明中である。九州沖縄農業研究センターでは、地域企業との共同研究を行っており、積極的な活用をお願いしたい。

④原料サツマイモと芋焼酎の香味について

大口酒造(株)
取締役・研究室室長 神渡 巧氏

芋焼酎の香味には、発酵や蒸留、貯蔵など製造工程に由来するものと、原料のサツマイモに由来するものがある。サツマイモはその肉色により、黄白色系、紫系、オレンジ系などのグループに分けられ、芋焼酎の香味も、それぞれのグループごとに大きく異なったものになってい

る。8品種のサツマイモを用いて芋焼酎の小仕込みを行い、酒質の官能評価と特徴香成分の検索を行った。その結果、アントシアンを含み紫色(紫系)の原料ではヨーグルト的な香りが得られ、カロチンを含み橙色(オレンジ系)の原料ではニンジンジュースの香りが認められた。また、ジョイホワイトを原料としたものは、さわやかな柑橘的な香りを有した製品が得られた。今回商品化した「新幹線さくら」のタイアップ商品である「さくら伊佐錦」は、オレンジ系の新規のハマコマチを原料としている。この焼酎は花・果実・柑橘の甘い香りを併せ持っており、飲み方によって香りが変化するのが特徴である。

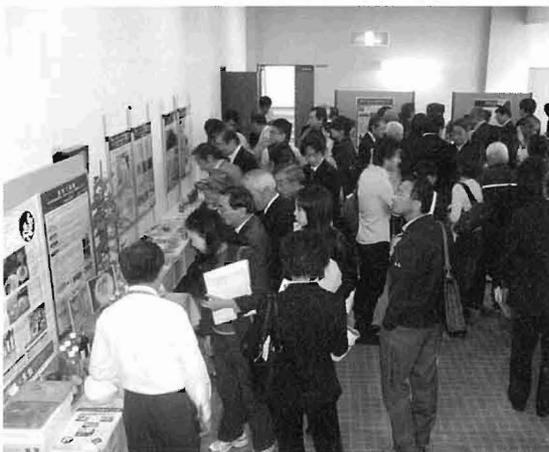


●パネル発表

パネル発表では、講演で述べられた試作品や商品等が4件、かごしま産業支援センターの研究開発助成

事業等に採択されたテーマが4件、国の支援制度から「地域資源」と「農商工連携」の認定を受けた企業から食品に関するテーマが2件の合計10テーマのパネル発表がありました。各ブースでは、新商品等の試飲や試食が行われ、参加者は、企業担当者とは活発な意見交換などを行っていました。パネル発表のテーマは、次のとおりです。

- ①養殖カンパチ冷凍長期保存の褐変を防止する処理加工技術の開発 (有) 敬天水産
- ②青切り桜島小みかんを利用した新商品開発 (有) さくららじま旬彩館
- ③金柑を使った健康的スイーツの開発 (有) 清木場果樹園



- ④顧客ニーズに合わせた漬物商品開発及び新しい市場への販路開拓に関する研究 (株) 中園久太郎商店

- ⑤黒酢に果物を漬け込んだ「フルーツ黒酢」の開発・販路開拓 福山黒酢(株)
- ⑥紫色の山芋を活用した菓子や食品素材などのオリジナル商品「紅山芋」の開発と販路開拓 (有) 友創

情報化優良企業「優秀企業賞」受賞！

農業工程支援システムの構築・導入

株式会社さかうえ

志布志市志布町安楽2999

代表取締役 坂上 隆



優秀賞を受ける坂上事業部長

平成22年11月16日、平成22年度情報化優良企業の発表があり、志布志市志布町の株式会社さかうえが優秀企業賞を受賞されました。

また、当センターが受賞企業に対し専門家派遣を行い、全社員が共有するための経営理念の検討、ホームページやブログ等によるPR、マーケティング手法の確立、展示会への出展準備と出展後の個別企業へのフォロー・アプローチ等の支援が評価され、優秀サポート賞を受賞しました。

事業内容

天候に左右される宿命の農業に「農業工程支援システム」を導入し、過去のデータに基づき作業工程をIT化し、供給先の大手食品メーカーの要望に合わせた「量・質・時」を遵守した「多圃場・多品種栽培」を軌道に乗せました。

「農業工程支援システム」の構築・導入により農作業を一つ一つの作業工程に分解し、工程の「見える化」により作業の標準化を進め、農業に精通していない人でも作業ができる仕組みづくりを行いました。

このシステムにより、蓄積したデータをもとに、情報の共有化や作業の進捗状況の把握・結果予測が容易となり、効率的な栽培や安定供給が実現しています。また、畜産農家向けの飼料栽培や販売などによる循環型農業の実現にも力を入れています。

情報化の内容

手書き日報の入力作業のシステム化、また、113もある生産工程を全てマニュアル化し、管理システムと連動させることにより、属人的だった農業を「事業として経営可能なもの」に改革しました。

作業前・作業後をデジカメで撮影しデータ化するなど、「みんなが使えるシステム」を目指し、高齢者も含めた現場作業員にもわかりやすいシステム構成で、現場作業の全てを「見える化」することで情報の共有化ができ、「農業工程支援システム」を見ながら議論を行い、現場作業改善や業務効率の向上につなげています。

また、数値化による、経営目標を明示し、チームの具体的活動を「バーチャル化」して、年間・月間の作業計画を明確にし、計画の実現を図っています。



「情報化優良企業」各賞受賞者のみなさん

前列右から3人目が株式会社さかうえ 坂上事業部長

「情報化優良企業表彰」は、財団法人全国中小企業情報化促進センターが、中小企業者の情報化の促進・発展を図るために、全国の都道府県等中小企業支援センターがITを活用した経営力強化等の支援を行った中で、企業が情報化（IT経営）に取り組み、IT活用利用の状況がユニークであり、企業の経営活動の中でその効果が認められる中小企業者を表彰するものです。

女性経営者登場!

滞在型ヘルスツーリズムこそ
鹿児島県の観光



株式会社指宿ロイヤルホテル

代表取締役会長 有村 佳子

指宿市十二町4232-1

TEL: 0993-23-2211

FAX: 0993-23-2214

URL:

http://www.ibusukiroyalhotel.co.jp/

「スパドゥ」のはじまり
平成14年4月、指宿ロイヤルホテルは勧められて鹿児島県工業倶楽部に入会しました。

この年の9月、工業倶楽部では40数社により「食・運動・温泉融合化研究会」が発足し、私が会長に選任されました。「スパドゥ」と命名、鹿児島独特の食材・豊富にある温泉・必要な運動を組み合せ、健康増進を研究しました。

平成16年7月、鹿児島大学医学部丸山教授の指導により、40歳から59歳の男女10名、4泊5日のモニタリングを行いました。

初日、病院で血液や尿の検体採取、血圧やエコー検査を行い、指宿ロイヤルホテルがカロリー調整した食事を提供、午前午後運動指導士によるウォーキングと砂むし温泉入浴、この行動を4日間行



スパドゥ

い、最終日、初日と同じ検査を行い医学部で分析比較した結果、モニター全員に身体改善結果が見られました。

しかし、検査費や人件費等が一人四十万円に及ぶ事が判り、産業としては成立しないと結論が出ました。

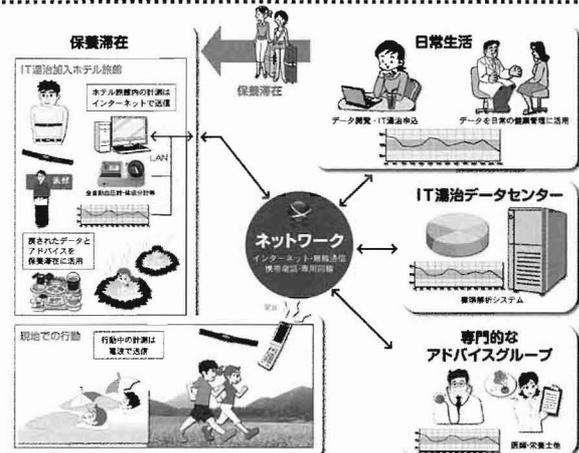
医療からIT湯治へ

そこで、工業倶楽部有志と指宿ロイヤルホテルは、研究会メンバーの大井先生を中心に、医療行為ではなく保健行為であれば費用が安くなるという発想から、観光地で小型身体計測器を装着、自由に行動しながら身体情報を携帯電話やインターネットでサーバーに送り、解析した結果が判ります。

また、運動量から必要カロリーの食事指導が出来ます。結果は日常生活でも活用でき、心配な時は情報を主治医に提供することで、健康増進に活用する。というシステムを構築し「ビジネスモデル特許」として出願しました。

しかし、これは絵に描いた餅。その様な時、内閣府から「地方の元気再生事業」への応募要請があり、鹿児島大学産学官連携機構を中心に民間4社大学2校と県・市による協議会が発足。10倍の競争を通り、九州沖縄代表事業として採択されました。

IT湯治の概念図



※IT湯治システムはビジネスモデル特許「観光滞在型健康保養システム 特許2006-163859」に基づいています。

小型身体計測器は福岡のパラマテック社が作成、胸部装着型心電計の情報から周波数解析により、交感神経と副交感神経を抽出し、ストレスとリラククスがグラフ表示されプリントアウト出来ます。

目指すもの

平成23年3月新幹線全線開通の好機に、この面白さを観光に活かし、滞在型ヘルスツーリズムとして新しい産業を創出し、2年間の実証実験の結果取得出来た「ビジネスモデル特許」の実用化を実現したいと思えます。

実践！活用

世界最大級の インターネット上の展示会

鹿児島の皆様、初めまして。アリババマーケティング(株)の市東(シトウ)と申します。

弊社は、世界最大のインターネット上の展示会「アリババドットコム」の代理店業務を行っております。日本企業がアリババ上へ出展し、インターネットを通じて、海外の企業と出会うためのお手伝いをしています。

活用事例を通じ、ネットを使った海外販路開拓のポイントを解説させていただきます。



◆はじめに
事例紹介の前に、B to BとB to Cについて解説致します。
楽天に代表される日本で普及しているネットビジネス(エコマース)はB to C(企業⇩消費者へ販売)という形式がほとんどです。いわゆる、お店(商店)で、物を販売するという機能に特化しています。

それに対し、アリババを代表とするB to B(企業対企業)は日本ではほとんど普及していません。ですので、正しく理解されていないケースがほとんどです。

B to Bのイメージは、企業と企業が出会う場所と想ってください。いわゆる、展示会だったり見本市が、B to Bです。売り先が消費者から企業になっただけ、ではありません。

つまり、B to Cは『消費者に商品を販売』するのが目的で、B to Bは「企業と企業が出会う」のが目的と、本質が異なります。ここを忘れずにおいてください。

以上を踏まえた上で、日本企業の活用事例をご紹介します。

◆新興国にヤニ取りフィルターを輸出

今、新興国で面白いことが起きています。日本では既に成熟してきた市場や製品でも、新興国で

BtoCとBtoBの違い

	BtoC(企業から消費者)	BtoB(企業対企業)
イメージ	「商店」	「展示会」
掲載商品	消費財が中心	消費財+産業財+サービス
サイトの機能	ショッピング(販売)	マッチング(出会い)
継続性	その場で取引終了(一過性)	継続取引
価格	価格が決まっている	条件交渉から始まる
決済	サイト内	主にサイト外
必要な技術	アピール力+素早い対応力	アピール力+交渉力
例	Amazon, ebay, Taobao...	Alibaba, ec21...

はこれからブームが来る、ということです。

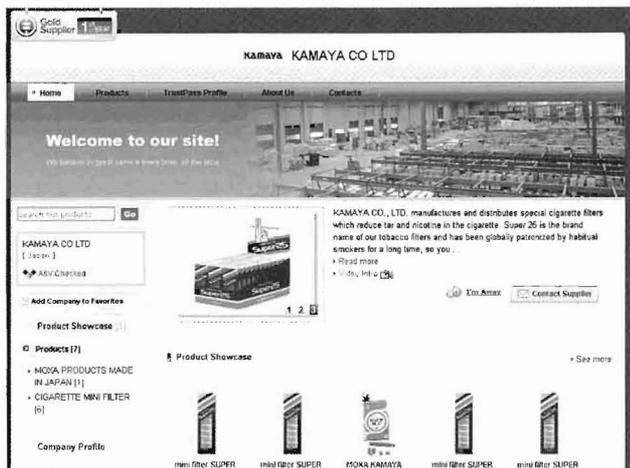
東京でタバコのニコチンフィルターを製造している企業があります。日本では健康ブームの影響で売上が落ちていたようですが、タバコにポジティブな国の開拓を意図して、アリババに出展をいただきました。

すると多くの新興国バイヤーから問い合わせがありました。バイヤーとメール等で交渉をした結果、ブルネイのバイヤーとの契約が決まりました。その後も順調に顧客は増加しています。

◆ポイント

ここで押さえておきたいポイントは『インターネットで全世界に情報を発信した結果、ブルネイという予想もつかない国から問い合わせが来た』ということ。ブルネイにタバコのヤニ取りフィルターのニーズがあるなんて、誰が想像できたでしょうか？

アリババには世界190カ国から1492万の会員が参加し、しかも9割がバイヤーです。日本にいながらにして世界中のバイヤーに自社の製品やサービスをアピールし、ニーズのある企業から問い合わせを受けることが出来る。これが世界最大と呼ばれるアリババのマーケットです。



◆貿易未経験の個人事業主がアリババを通じて世界進出

続いては、貿易未経験の個人事業主の会社、アリババを通じて世界進出を果たした事例です。大阪の企業様です。

取り扱っているのは古着。国内の需給市場が悪化し、販売価格がどんどん落ちてきている状況の中で、日本の古着は国際的にニーズがあると考え、アリババを利用することになりました。

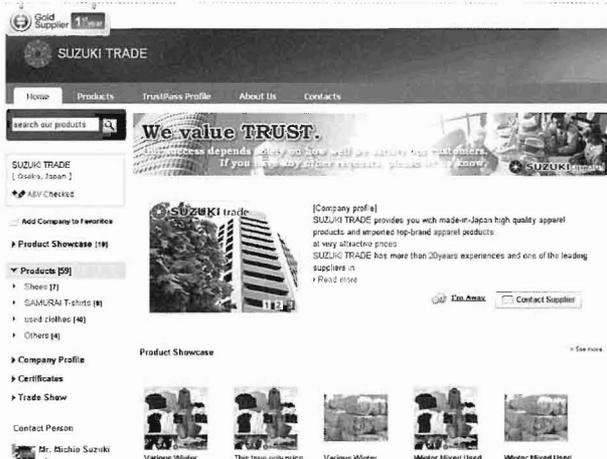
利用開始後、アジアやアフリカを中心に1日10〜15件の問い合わせがありました。その中から見込みの高いバイヤーと交渉を行い、受注を獲得してコンテナ単位で古着を輸出されています。

◆ポイント

ここで押さえておきたい点は『貿易未経験でも、個人事業主でも、インターネットを活用すれば海外企業と対等に渡り合えるビジネスが出来る』ということです。

今まで海外の最新ビジネス情報を得られるのは、一握りの大企業か、商社だけでした。しかし、インターネットがこれだけ普及した今、知恵とコミュニケーションを駆使すれば、誰でも海外の情報を得ることができ、誰でもビジネスをすることが可能です。

意識すると「自分に何ができるのか」ではなく「自分は何をしたい



の「か」です。つまり、望めば誰でも、インターネットを使って海外ビジネスの扉を開くことが可能なのです。

うちの会社は小さいからとか、インターネットが苦手とか、英語ができない等の話も出たりしますが、はつきり言ってしまうとそれは言い訳です。それを理由に海外に出たくないだけなのです。やる気がある企業は、すべてを克服して、ドンドンと未来を切り開いていきます。

◆最後に

アリババの入り口はインターネットというITですが、あくまでも出会いの場に過ぎません。

サイト上のゴールは、海外のバイヤーから問い合わせをいただくことです。その問い合わせから交渉を開始し、いかにビジネスに結びつけるかは、利用する企業の手腕次第です。

しかし、きちんとバイヤーとコミュニケーションを取れば、契約は取れなくても現地のニーズなどの情報を得ることが出来るかも知れません。それが、別のビジネスに繋がることも考えられます。

数多くの企業と、日本にいながらにして出会うことが出来る。それがインターネットのメリットであり、アリババの強みでもあります。

『アリババドットコムを利用した海外販路開拓』

鹿児島でのセミナー開催のご案内

なぜ今海外市場なのか？ なぜインターネットなのか？
なぜアリババなのか？ 日本企業がどのように活用しているのか？
などの疑問点を、分かりやすく解説するセミナーです。

1/28(金) 鹿屋市 鹿屋商工会議所
2/16(水) 鹿児島市 宝山ホール

詳しくは **アリババ セミナー** をどうぞ。

☆筆者紹介☆

市東 浩一 (Kouichi Shitou)

=所属=

アリババマーケティング株式会社

南九州営業所 チーフアドバイザー

鹿児島市鴨池新町12-12 第2岩崎ビル4F

TEL : 099-206-1588 FAX : 099-206-1577

http://www.alibaba-m.jp

Twitter : @shito_ABM



是非、「開けゴマ！」と呪文を唱えて、世界への扉を開きましょう！

鹿児島県から融資制度のお知らせです！

経済対策特別資金

○本資金は、国の景気対応緊急保証制度に対応した資金です。
 ○取扱期限は平成23年3月31日までとなっていますので、ご利用をお考えの方は早めにお申し込みください。

融資対象者

県内で現に営む事業を1年以上継続して営んでいる中小企業者および組合で、以下のいずれかに該当する方が対象です。

- 最近3か月間の平均売上高等が前年の同期と比べ3%以上減少している中小企業者
- 原油等の仕入れ価格の上昇を製品等価格に転嫁できていない中小企業者（以下のすべてに該当）
 - ▼原油等が売上原価の20%以上を占めている。
 - ▼最近1か月の原油等の仕入価格が前年の同期と比べ20%以上上昇している。
 - ▼最近3か月間の月平均売上高に占める原油等の月平均仕入価格の割合が前年の同期を上回っている。
- 最近3か月間の平均売上総利益率または平均営業利益率が前年の同期と比べ3%以上減少している中小企業者
- 新型インフルエンザの発生により事業に影響を受けた中小企業者（以下のすべてに該当）
 - ▼最近1か月の売上高等が前年の同期と比べ3%以上減少している。
 - ▼その後2か月間を含む3か月間の売上高等が前年の同期と比べ3%以上減少することが見込まれる。
- 最近3か月間の平均売上高等が2年前同期と比べ3%以上減少している中小企業者

経済産業大臣の指定を受けた業況の悪化している業種

H22.2.15現在 1118業種

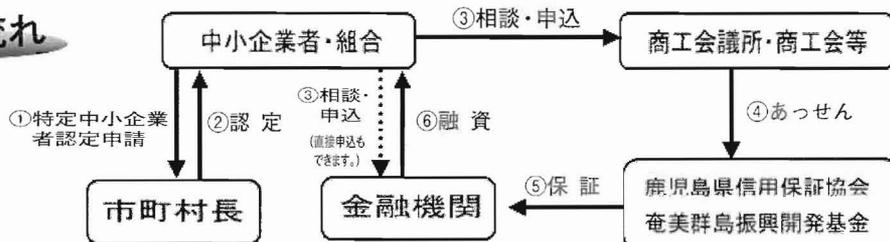
対象業種については中小企業庁ホームページ <http://www.chusho.meti.go.jp/> で確認できます。

融資条件

平成22年4月1日現在

融資限度額	運転資金2,000万円・設備資金3,000万円		
利率	1年以内 年1.9% 5年超7年以内 年2.3%	1年超3年以内 年2.0% 7年超10年以内 年2.7%	3年超5年以内 年2.1%
信用保証料率	年0.58%		
融資期間	運転資金 7年以内(据置24月以内)・設備資金 10年以内(据置36月以内)		
償還方法	毎月均等分割		
保証人・担保	保証機関の定めるところによる		
取扱金融機関	鹿児島銀行、南日本銀行、鹿児島信用金庫、鹿児島相互信用金庫、奄美大島信用金庫、鹿児島興業信用組合、鹿児島県医師信用組合、奄美信用組合、商工中金、福岡銀行、肥後銀行、宮崎銀行、西日本シティ銀行、熊本ファミリー銀行、宮崎太陽銀行（県外に本店を有する金融機関については県内営業店に限る。）		
借入申請に必要な書類	○信用保証委託申込書 ○県民税及び市町村民税の納税証明書 ○特定中小企業者認定書 ○その他知事、保証機関及び取扱金融機関が必要と認める書類		

融資の流れ



— ご相談は最寄りの商工会議所・商工会等へどうぞ —



マイクロ風力発電装置の販路開拓

有限会社カミテック
代表取締役 神 清高

日置市伊集院町下神殿 1965-1
TEL:099-272-7205 FAX:099-272-7206
E-mail:kamitec@po5.synapse.ne.jp
http://kamitec.jp



発表する神社長

ベンチャープラザ

コーナー ⑦1

第46回ベンチャープラザ
鹿児島（二水会）

発表内容

〈企業紹介〉

平成15年に日置市伊集院町で創業しました。

当初は、ハウス関連の販売、リースを手掛けていましたが、平成17年から風力発電事業を、平成19年からはLED事業を始めました。

〈商品開発のきっかけ〉

環境破壊で、自然環境が変わって来たことから、弊社でも微弱ながら環境問題に取り組みたいと考えていました。

鹿児島は、海岸が近くにあり、また、年間を通じて風が吹く地域であることから、この風を生かした風力発電ができないかと考えました。

現在、日本の平均風速は2〜3mです。そこで、低風速で利用出来る風力発電機の開発に取り組みました。

〈商品の特徴〉

超低風速1mで発電するため、ロスを減らし、なるべく負荷抵抗を下げずに発電させる方法を考え、鉄芯を持たないコアレス発電機を開発しました。

コイルを巻く作業では、コイル巻き線機など弊社独自の機械を作り、現場に合った低速型・高速回転型など、コイルの大きさ、巻き数を変えて作ることが可能になりました。

また、ブレードも弊社の職人が高速回転・低速回転など場所に応じて二種類製作しています。

発電機は、低風速で高出力が出るように工夫し、台風時にもコントローラーでブレーキ制御でき、ブレードの形状で、ある一定の回転数以上にはならないようになっています。

弊社の発電機は、今までの、モニュメント・飾りではなく、実用可能な発電機であり、家庭での売電・系統連係で利用出来る温暖化削減に貢献できる製品です。



アップウインド型



ダウンウインド型

発表後の成果・感想

発表後には、数社からの問い合わせがありました。

また、カタログ見積もり請求・テレビ取材など、弊社をアピールすることが出来ました。

まだ早くに二水会の、プレゼンテーションをしていただければ良かったと思う次第でした。

今後の展望

現在の発電機で超マイクロ発電機を作り、道路公園、トンネルなどで利用出来る製品を開発したいと考え、既存の製品も、コストを下げ方法で営業展開を進めたいと思います。

研究シーズの紹介

この発明を製品化してみませんか？

鹿児島TLOでは鹿児島大学・鹿児島高専・鹿屋体育大学の研究者の研究成果を企業の新規事業等へ活用していただくために、産学官連携や技術移転活動を行っています。今回は、鹿児島大学が出願し、鹿児島TLOが移転活動を行っている下記発明を御紹介します。

【発明の名称】 セキュリティ認証システム及びセキュリティ認証方法

【出願人】 国立大学法人鹿児島大学

【発明者】 鹿児島大学理工学研究科教員等

【出願番号】 特願2007-233169

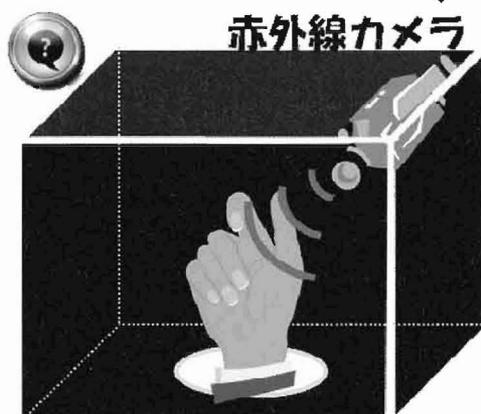
【出願日】 平成19年9月7日

【発明の概要】 「グー・チョキ・パー・チョキ・・・」といった手形状パターンを決め、それを認証キーとして用いる認証システムです。使用するのは、従来の高価なバイオメトリック（指紋、静脈パターン）認証システムに比べ、圧倒的に安い赤外線カメラ。しかも、非接触なので、衛生的な場面（医療施設や食品工場）などでの利用も可能です。

【本装置の特徴】

【解決したい課題】

これまでの指紋などを用いたセキュリティ認証システムでは、かなりの導入コストがかかり、偽造や盗難の危険があった。



認証に使える手の形状パターンは、グー、チョキ、パー以外にも無数！



シーズ活用分野
医療施設・食品工場での入室管理、住居ドア、ATM・・・等



本技術の特徴

- ★従来の装置と比べて赤外線カメラは安価！
- ★入力キー部分を完全に覆い隠すことができる！
- ★手形状パターンの変更ができ、盗難のとき代替が可能！
- ★非接触で抵抗感がない！
- ★サインの組み合わせは無数→信頼性
- ★既存施設への導入も安価で簡便！

このシステムを組み込んで製品化しませんか？



株式会社鹿児島TLO 【<http://www.ktlo.co.jp/>】

〒890-0065 鹿児島市郡元1-21-40 鹿児島大学産学連携推進機構棟2階

TEL 099-284-1631 FAX 099-284-1632 E-Mail info@ktlo.co.jp

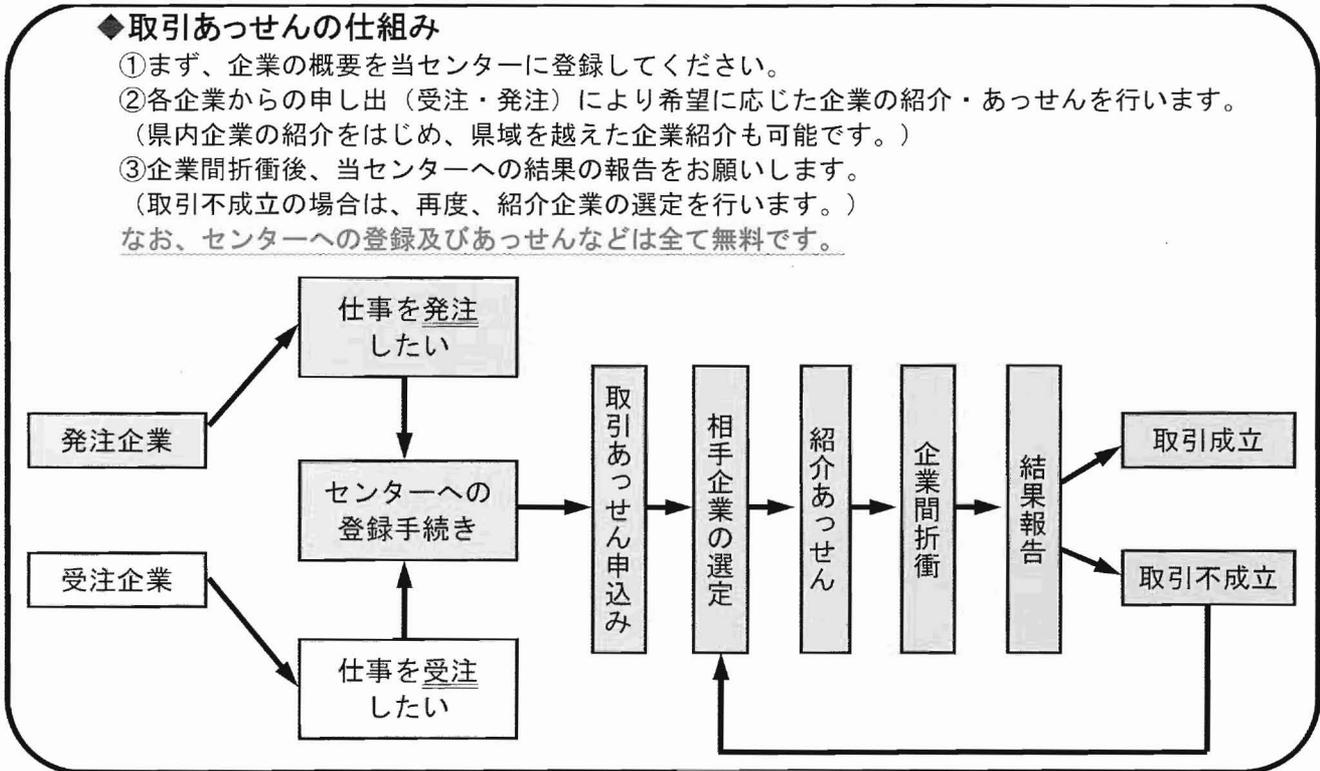
活用ください! ビジネス支援課

ビジネス支援課では、取引の紹介あっせんや商談会の開催等により、県内中小企業の販路・取引先開拓の支援を行っております。積極的に御利用ください。

●取引の紹介あっせん

◆取引あっせんの仕組み

- ①まず、企業の概要を当センターに登録してください。
 - ②各企業からの申し出（受注・発注）により希望に応じた企業の紹介・あっせんを行います。（県内企業の紹介をはじめ、県域を越えた企業紹介も可能です。）
 - ③企業間折衝後、当センターへの結果の報告をお願いします。（取引不成立の場合は、再度、紹介企業の選定を行います。）
- なお、センターへの登録及びあっせんなどは全て無料です。



●商談会の開催

発注企業と本県中小企業による個別商談会を県外で開催するとともに、県単独の商談会を鹿児島市内で開催する等、本県中小企業の新規取引先の開拓を支援します。

<今年度の開催状況>

九州各県支援機関合同の商談会<現地商談会> 2回（福岡市・大阪市）

鹿児島県取引情報交換面談会 1回

鹿児島市：ホテルウェルビューかごしま 平成23年2月2日（水）13:30～19:00

合同商談会
(現地商談会)



取引情報交換
面談会



問い合わせ先

(財)かごしま産業支援センター ビジネス支援課
〒892-0821 鹿児島市名山町9番1号(鹿児島県産業会館2階)
電話:099-219-1274 FAX:099-219-1279
E-mail:business@po.kric.or.jp

受発注情報

当センターでは、仕事を発注・受注したい企業の希望条件（設備・技術力等）に見合った取引の紹介あっせんを行っております。今月は、下記の企業から発注・受注の申し込みがきておりますので、あっせんの御希望がありましたら御連絡ください。

また、センターのホームページでも御覧いただけます。（URL：http://www.kric.or.jp）

発注情報は、11月に実施した九州合同発注開拓調査（※）で発注申し込みのあった案件（県外分）を掲載しました。なお、お手元に届くまでに、あっせん済みになっている場合もありますので、その際は御了承をお願いいたします。

※九州合同発注開拓調査とは、大手・中堅等の発注企業（約1,070社）に対して、九州各県支援機関が合同で実施している発注案件の掘り起こし調査です。なお、この調査は6月と11月の年2回実施しており、今回は第2回目の調査結果となります。

◆発注情報

No.	所在地	発注品目	数量	加工内容	発注条件		
					必要設備	材料	有効年月日
1	熊本県	精密板金部品 (表面処理・塗装含む) (1~2月頃)	協議	精密板金加工	ターレットパンチプレス レーザー加工機 ベンダー・溶接機	A5052 SECC SPCC SUS	H23.2.28
2	山口県	装置設計製作 (食品加工機械用) (現在)	協議	機械加工 設計~製作 製缶加工 板金加工	MC・NC旋盤・中ぐり盤 パフ研磨 レーザー加工機 TIG溶接機 他	SUS304主体	H23.2.28
3	広島県	機械加工品 (特殊鋼鋼材) * 20mm×20mm~ 20mm×4,000mm * 丸物各種 (現在)	単品	機械加工	マシニングセンター NCフライス・NC旋盤 門型五面加工機 他	特殊鋼各種	H23.2.28
4	大阪府	婦人服 (特にボトム・ブラウス) (現在)	50~200枚 程度	裁断~縫製 ~仕上げ	裁断機 ミシン(各種) アイロン	布帛 ジャージ	H23.2.28
5	大阪府	婦人服 (ジャケット・ワンピース・ブ ラウス・スカート・パンツ) (現在)	協議	裁断~縫製 ~仕上げ	本縫いミシン	ポリエステル 綿・シルク ウール	H23.2.28
6	兵庫県	機械加工部品類 (現在)	単品~ 20個程度	機械加工 (旋盤~MC加工) (機械製缶~加工) (~3,000L)	旋盤 マシニングセンター(立・横)	SC SUS SS	H23.2.28
7	滋賀県	精密加工部品 (現在)	少量 多品種	機械加工	旋盤・マシニングセンター 研削盤・放電加工機 他	鉄系・SUS系 銅系・樹脂 レアメタル他	H23.2.28

◆受注情報

No.	所在地	資本金 (万円)	従業員数 (人)	受注希望品目 (加工内容)	備考
1	枕崎市	個人	4	部品組立 ハンダ作業 電機配線作業 等	必要な治具等の無償貸与希望

◆お問い合わせ先 (財)かごしま産業支援センター ビジネス支援課
TEL:099-219-1274 FAX:099-219-1279
E-Mail:business@po.kric.or.jp

Information

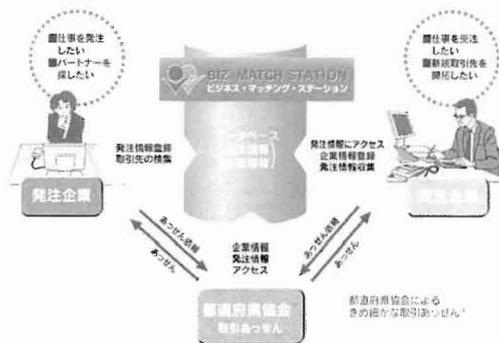
1 ビジネス・マッチング・ステーションの御紹介 ～無料で利用できる取引支援サイト～

ビジネス・マッチング・ステーションは、主に製造業とサービス業の方が新規取引先を探す手段として御利用いただける登録企業数22,000社以上の取引受発注支援サイトです。当サイトは、公的機関が運営しており登録及び利用は全て無料ですので、御活用ください。

(<http://biz-match-station.zenkyo.or.jp/>)

◆ビジネス・マッチング・ステーションを利用するメリット

1. 自社情報をPRすることにより取引先を拡大することができます！
2. 発注企業への取引希望意思の連絡が簡単にできます！
3. 自社の被参照件数や案件検索数等の参考情報を利用できます！
4. パスワードは自社で変更自由、もちろんセキュリティ対策は万全です！



ビジネス・マッチング・ステーションは、受注企業の皆様がインターネットを用いて、取引先の開拓や販路拡大等を行うことをお手伝いするシステムです。発注企業にとりましては、最適な受注企業を探し出すことをお手伝いするシステムです。インターネットから直接、会員登録を行うことができます。全ての手続きは、インターネット（及び電子メール）を使うため、職場やご自宅からお気軽に登録することができます。（正会員までは、1週間程度を要します。）

2 「下請かけこみ寺」事業の御案内 ～中小企業の取引上の悩みに応じます～

当センターでは、企業間取引に関する様々な悩みや相談に対応する「下請かけこみ寺」事業を実施しています。主な事業内容は、以下の通りです。お気軽に御相談ください。なお、相談は無料で、御相談いただいた方の秘密は厳守いたします。

【事業内容】

◆各種相談の対応

取引に関する様々な悩みや相談に対して、下請代金支払遅延等防止法や中小企業の取引問題に知見を有する専門家が親身になって耳を傾け、適切なアドバイスを行います。また、県内各地で無料の弁護士移動相談会を開催しています。

◆迅速な紛争解決

中小企業が抱える取引に係る紛争を迅速・簡便に解決するため、裁判外紛争解決手続（ADR）等を用いて、全国の登録弁護士が中小企業者の身近なところで調停手続き等を行います。

◆下請適正取引ガイドラインの普及啓発

中小企業に対する「下請適正取引等の推進のためのガイドライン（※）」の普及啓発を図ります。

※「下請適正取引等の推進のためのガイドライン」は、下請取引に関するベストプラクティス事例（理想的な良い取引関係）や下請法等で問題となりうる行為等、業種別に分かりやすく提示したものです。素形材、自動車、産業機械、航空機等、繊維、情報通信機器、情報サービス・ソフトウェア、広告、建設業、トラック運送業及び建材・住宅設備産業、放送コンテンツ業、鉄鋼産業、化学産業、紙・紙加工産業・印刷業の15業種が対象です。

【受付場所および時間】 ※相談を希望される方は、なるべく事前のご連絡をお願いいたします。

(財)かごしま産業支援センター ビジネス支援課

9:00～12:00 13:00～17:00 (土日・祝祭日・年末年始を除く)

◆お問い合わせ先: (財)かごしま産業支援センター

ビジネス支援課 (下請かけこみ寺窓口)

TEL: 099-219-1274

上野原ビジネスプラザ・インキュベーターの御案内

当センターの上野原ビジネスプラザでは、起業家や新たな事業分野への展開を目指す中小企業の方々に、24時間無料でインターネット接続サービスが利用できる快適で低廉な料金のインキュベーターを用意し、皆様のお入居をお待ちしています。

- ・インキュベーター 22室（平成23年1月1日現在6室が空室）

面積：31.5㎡～111.15㎡

月額使用料：49,612円～131,853円（敷金不要）

なお、創業5年未満の企業については、使用料の減免があります。

所在地：霧島市国分上野原テクノパーク4-30



■問合せ先■ (財) かがしま産業支援センター 上野原ビジネスプラザ

〒899-4317 霧島市国分上野原テクノパーク4-30

TEL: 0995-45-3511 FAX: 0995-48-5270 E-mail: gyoumu@po.kric.or.jp

「かがしま企業情報」への掲載の御案内

当センターでは、県内中小企業の情報発信の充実と検索等の利便性を図ることを目的に、当センターのホームページ上に「かがしま企業情報」を構築し、掲載企業の募集をしています。

インターネットを使用しての登録・更新が可能で、登録企業側の操作もしやすくなっています。

一社でも多くの企業に掲載していただければビジネスチャンスの拡大に繋がることが期待されます。掲載料は無料ですので、お気軽に御登録ください。



■問合せ先■ (財) かがしま産業支援センター 情報支援課

TEL: 099-219-1275 FAX: 099-219-1279

E-mail: info@po.kric.or.jp

センターホームページ「KISCネット21」の御案内

センターのホームページを御覧になったことがありますか？

こんなメニューがあります。

- ・センター・関連機関からのお知らせ
- ・ニーズ別に制度や業務相談窓口の紹介
- ・センターの調査物・刊行物の紹介
- ・ビジネスに役立つお勧めサイト など

ぜひ、御覧ください！！ URL: <http://www.kric.or.jp/>



メール配信サービス「KISCNEWS」の御案内

当センターでは、イベントや研修など各種のお役立ち情報をEメールで無料配信するサービスを行っております。配信を希望される方(機関または個人)は、次の当センターホームページからお申し込みください。

お申込み先URL:

<http://www.kric.or.jp/publication/kiscnews/top.htm>

■問合せ先■

(財) かがしま産業支援センター 情報支援課

E-mail: kiscnews@po.kric.or.jp



情報KISC 1月号

発行者：財団法人かがしま産業支援センター

〒892-0821 鹿児島市名山町9-1 鹿児島県産業会館2F

TEL 099-219-1270 (代表)

FAX 099-219-1279

E-mail kisc@po.kric.or.jp

URL <http://www.kric.or.jp>